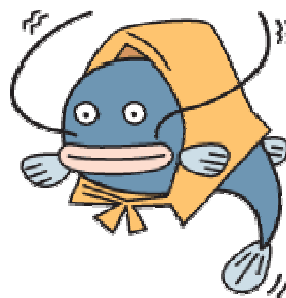


緊急地震速報 なまずきん



マンスリー レポート
2009年 7月号

発行元 株式会社 ハレックス



気象庁は、今年12月1日に “訓練用の緊急地震速報”を配信、訓練を支援します！

気象庁では、昨年度から国の機関や自治体に限定して訓練用の緊急地震速報を配信し、訓練の実施を支援してきましたが、本年は、各家庭や事業所等で行われる訓練も支援するため、配信先を限定せずに訓練用の緊急地震速報を配信することにしました。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかであり、その短い間、あわてずに身を守るなど適切な行動をとるためには日ごろからの訓練が必要です。また、震源近くで緊急地震速報が間に合わない場合でも、緊急地震速報を見聞きしたときと同じように、あわてず机の下に入るなどの身を守る適切な行動をとることが基本です。

このため気象庁では、昨年度から訓練用の緊急地震速報を国の機関や自治体に限定して配信し、訓練実施を支援してきましたが、本年12月1日の訓練では、各家庭や事業所等で行われる訓練も支援するため、配信先を限定せずに訓練用の緊急地震速報を配信することにしました。

今回は、訓練用の緊急地震速報が気象業務支援センターや配信事業者等を通じて、家庭や事業所

等に設置された受信端末にも配信されますので、緊急地震速報を見聞きしたときのより実践的な対応行動訓練が可能となります。

訓練では全国的に受信端末を起動させる必要があることから、気象庁では震源要素が異なる複数の地震を用いて、訓練用の緊急地震速報を連続して配信する計画です。下記の表には、気象庁が想定している8地域の訓練用地震を示します。

なお、訓練の詳細については、気象庁ホームページにある緊急地震速報受信時対応行動訓練用キット

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/usage/index.html>

をご覧ください。

<本文は、平成21年7月23日の気象庁報道発表資料から抜粋・作成しました>

震央地名	マグニチュード	緊急地震速報が発表される地域	映像ファイル
十勝沖	M8.0	北海道、東北	十勝沖映像 [wmv形式 3.5MB]
宮城県沖	M7.4	東北、関東、北陸	宮城県沖映像 [wmv形式 3.4MB]
新潟県上中越沖	M6.8	北陸、東北、関東、甲信	新潟県上中越沖映像 [wmv形式 3.4MB]
静岡県西部	M8.0	東海、甲信、関東、伊豆諸島、北陸、近畿、東北、中国、四国	静岡県西部映像 [wmv形式 3.4MB]
和歌山県南方沖	M8.0	近畿、東海、四国、中国、伊豆諸島、北陸、甲信、九州、関東	和歌山県南方沖映像 [wmv形式 3.4MB]
日向灘	M7.5	四国、九州、中国、近畿、東海	日向灘映像 [wmv形式 3.5MB]
奄美大島近海	M8.0	九州、沖縄	奄美大島近海映像 [wmv形式 3.5MB]
与那国島近海	M7.8	八重山、宮古島	与那国島近海映像 [wmv形式 3.5MB]

〜〜〜 なまずきんの働き (2009年6月) 〜〜〜

【発信数概要】

6月に緊急地震速報(予報)が発信された49個の地震における発信の総数は276通でした。先行運用が始まってからの月平均データと比較しますと、地震数は約94%、発信数は約92%で、月平均を少し下回る状況でした。

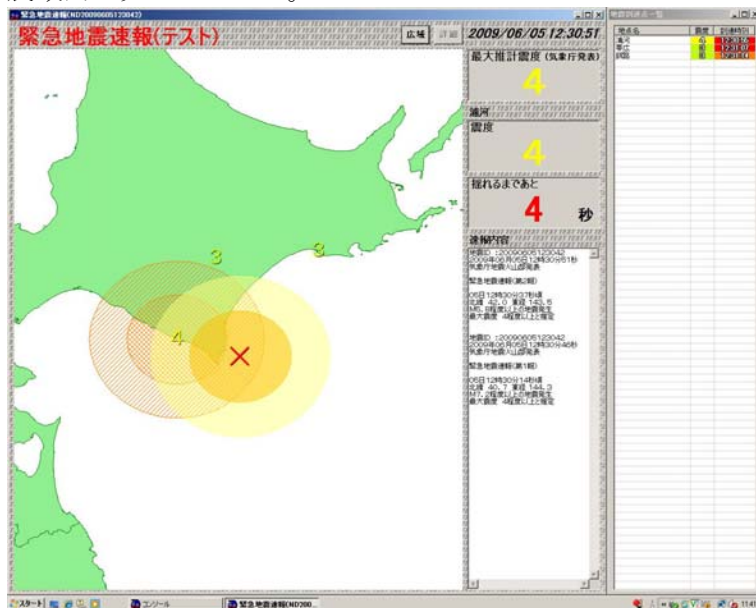
また、緊急地震速報で予測震度4以上と報じた地震は6個、このうち震度4を観測した地震は3個でした。なお、平成18年8月以降推定震度4以上と報じた地震の月平均発生数は約6.3個です。

Table.1 震度4以上を発信または観測した地震(2009年6月)

日	時分	地域名	深さ(km)	マグニチュード	速報発信数	速報最大震度(最終報震度)	観測最大震度(地点数)
5	12:30	十勝沖	31	M6.4	9	4(4)	4(5)
6	14:52	千葉県東方沖	42	M5.9	12	4(4)	3(30)
23	16:37	宮城県沖	39	M5.6	9	4(3)	4(3)
25	23:04	大分県西部	10	M4.6	8	4(4)	4(5)
28	09:35	長崎県南西部	12	M4.0	9	4(4)	3(1)
30	01:21	長崎県南西部	13	M3.9	10	4(4)	3(1)

【十勝沖の地震】

5日12時30分に発生した十勝沖の地震(M:6.4、深さ31km)で、北海道日高支庁と十勝支庁で震度4を観測したほか、北海道地方から東北地方にかけて震度3~1を観測しました。この地震の発震機構は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震と考えられます。今回の地震は「平成15年(2003年)十勝沖地震」(M:8.0、最大震度6弱)の余震域内で発生しました。



高度利用者向け緊急地震速報の第1報は、地震発生後の約14秒後に発表されました。

左図は北海道日高支庁浦河に着目したときの第2報を受信・処理した直後の“なまずきん”による再現画面です。

×印が震央で、外側の円(薄い黄色)がP波、内側の円(オレンジ)がS波の拡がりを見わけており、S波が浦河町に到達するまで4秒、予測される震度は4であることを示しています。浦河町で観測された震度は3でした。

*)発震機構とは、ある断層が地震を起こした際における、地下での断層の位置や方向、地震の際の断層の動きのことです。メカニズムともいいます。

Table.2 緊急地震速報で最大震度が3と推定された地震(2009年6月)

日	時分	地域名	深さ(km)	マグニチュード	日	時分	地域名	深さ(km)	マグニチュード
1	00:33	福島県沖	59	M4.6	15	15:40	宮古島近海	46	M4.2
2	19:37	新島・神津島近海	14	M3.4	20	11:53	三陸沖	26	M5.4
10	13:06	千葉県東方沖	38	M4.8	20	12:44	与那国島近海	70	M5.0
11	11:50	千葉県東方沖	30	M4.5	27	02:05	奈良県	8	M3.9